



SAYLOR
ADVERTISING,
INC.

セーラー広告株式会社

第74期 期末レポート

2024年4月1日～2025年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第74期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）を終了いたしましたので、その営業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

第74期の業績につきましては、デジタル領域の拡大と新しい事業領域の開発に取り組んだ結果、インターネット広告が順調に増加したほか、新しい事業領域への取り組みとして運営している『徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～』につきましても安定した売上を確保し、人流活性化やインバウンドを背景に、展示会・集客イベント・屋外広告を受注したこともあって、当社グループの総売上高は前年を上回る結果となりました。第74期につきましては、賃上げによる人件費の増加のほか、新しい事業へ取り組んだ事業経費の計上があり、販売費及び一般管理費が前年を上回りましたが、営業外収益として新しい事業等に対する助成金収入があり、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益におきましても前年を上回る結果となりました。

今年4月からセーラー広告株式会社第8代目の社長に就任いたしました。その責務の重大さを考えますと、誠に身の引き締まる思いがいたします。就任にあたり、今期の社内スローガンとして「存在感を示せ」を掲げました。「存在感」とは、ただ目立つことだけを指すものではありません。それは、「お客様にとっては、まずセーラー広告に相談してみようと思ってもらえる頼もしさ」「社会や地域にとっては、セーラー広告があると面白くなりそうだと期待される積極性」「業界に対しては、セーラー広告の動きが気になると注目される独自性」「社員同士に対しては、あなたがいるからチームが成立すると互いに認め合う結束力」であり、こうした信頼や貢献をとおして、自分たちの価値を周囲に確信してもらうことが「存在感を示す」真の意味であると考えております。私たちが目指している『マーケティングデザイン』を実践するうえでも、この存在感の考えが根本にあります。お客様が抱える課題や未来と一緒に描き、満足以上の喜びを提供することで、「セーラー広告だから頼れる」「セーラー広告がいるから前に進める」と思ってもらえる、その過程こそが「存在感を示す」ことの本质だと考えております。仕事における責任を果たし、存在感を示す先には、新たな可能性や信頼、そして私たちのさらなる成長が待っています。お客様にとって頼れる存在になることで、次のビジネスチャンスが生まれます。地域や社会から「セーラー広告がいてくれて助かる」と思っていただけならば、新たな繋がりやプロジェクトが広がります。社内でも社員同士が互いを高め合い、結束力が強くなっていきます。そして、成果を生み出すためには大きな挑戦が不可欠です。失敗を恐れて行動を起こさなければ、せっかくの成長のチャンスを逃してしまいます。挑戦の中で発生した失敗を学びに変え、そこからさらに上を目指す姿勢こそが、組織と個人の成長エンジンになると信じています。今期のスローガン「存在感を示せ」は、社員一人ひとりがこうした仕事の本质を改めて見つめ、周囲に対して「セーラー広告だからこそ生まれる価値」を形にするための合言葉であり、恐れず挑み、結果に一喜一憂するのではなく、すべてを糧として進化し続ける姿勢で、企業価値のさらなる向上を成し遂げたいと考えております。

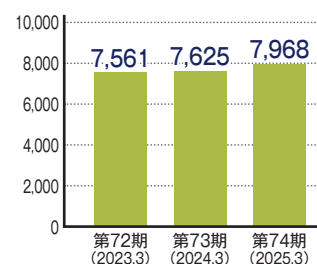
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

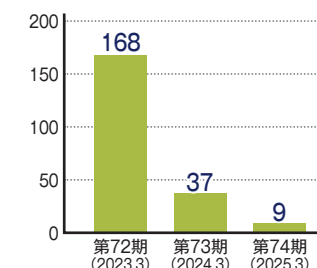
代表取締役社長 香川 裕史

■ 連結決算ハイライト

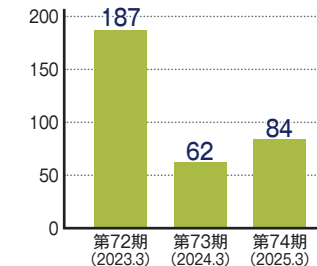
● 総売上高（単位：百万円）



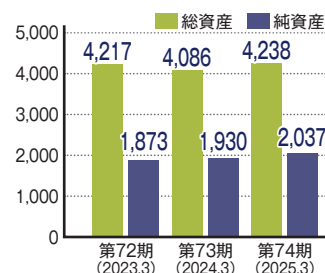
● 営業利益（単位：百万円）



● 経常利益（単位：百万円）



● 総資産・純資産（単位：百万円）



連結財政状態の概況

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第73期 2024年3月31日現在	第74期 2025年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,057	2,216
固定資産	2,028	2,021
有形固定資産	867	857
無形固定資産	32	53
投資その他の資産	1,128	1,111
資産合計	4,086	4,238
負債の部		
流動負債	1,566	1,742
固定負債	589	457
負債合計	2,155	2,200
純資産の部		
株主資本	1,888	1,971
資本金	294	294
資本剰余金	263	311
利益剰余金	1,589	1,591
自己株式	△260	△226
その他の包括利益累計額	42	63
新株予約権	—	3
純資産合計	1,930	2,037
負債・純資産合計	4,086	4,238

当連結会計期間末における総資産は4,238百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円の増加となりました。

資産の部では、現金及び預金の増加と受取手形及び売掛金の増加を主な要因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、2,216百万円となりました。また、減損処理による投資不動産の減少のほか、連結子会社の増加とのれんの計上を主な要因として、固定資産は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、2,021百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金の減少のほか、短期借入金増加と1年以内に返済予定である長期借入金および1年以内に償還予定である社債の固定項目からの振替えを主な要因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、1,742百万円となりました。また、長期借入金の返済のほか前述の流動項目への振替えを主な要因として、固定負債は前連結会計年度末に比べ131百万円減少し、457百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ107百万円増加し、2,037百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上と期末配当金の支払い、および、新株予約権の権利行使に伴う自己株式の処分によるものであります。

指 標	第73期 2024年3月期	第74期 2025年3月期
自 己 資 本 比 率	47.2%	48.0%
1株当たり純資産	462円12銭	461円19銭

連結経営成績の概況

連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

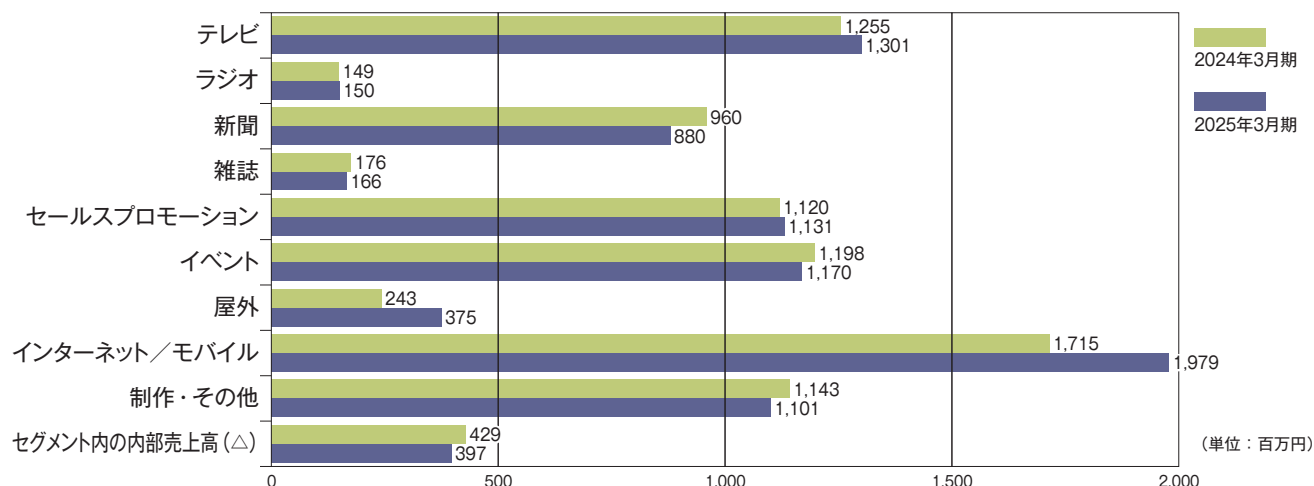
科 目	第73期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	第74期 2024年4月 1日から 2025年3月31日まで
総売上高	7,625	7,968
収益	2,050	2,097
売上原価	480	439
売上総利益	1,570	1,658
販売費及び一般管理費	1,533	1,648
営業利益	37	9
営業外収益	56	119
営業外費用	32	44
経常利益	62	84
特別利益	1	1
特別損失	68	20
税金等調整前当期純利益	△4	65
法人税、住民税及び事業税	29	36
法人税等調整額	39	1
当期純利益	△74	27
親会社株主に帰属する当期純利益	△74	27
その他の包括利益	29	20
包括利益	△44	48

当連結会計年度におきましては、インターネット広告が順調に増加したほか、地元企業のWebプロモーションやWebサイトの構築なども受注し、『徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～』の安定した売上のほか、人流活発化やインバウンドを背景にした展示会・集客イベント・屋外広告やオフィスの改装工事なども受注し、当社グループの総売上高は、7,968百万円（前期比104.5%）となりました。

収益面につきましては、利益率向上に向けた営業活動を徹底した結果、収益は2,097百万円（前期比102.3%）、売上総利益は1,658百万円（前期比105.6%）となりました。また、提案活動の活発化に伴う営業活動費用に加え、賃上げによる人件費の増加と譲渡制限付株式報酬の導入に伴う株式報酬費用のほか、新しい事業への挑戦へ取り組んだ事業経費の計上があり、販売費及び一般管理費が1,648百万円（前期比107.5%）となった結果、営業利益は9百万円（前期比25.7%）となりましたが、営業外収益において、助成金収入が53百万円あり、経常利益は84百万円（前期比135.1%）となりました。なお、特別損失として固定資産の減損損失20百万円の計上があり、親会社株主に帰属する当期純利益は27百万円（前期は74百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

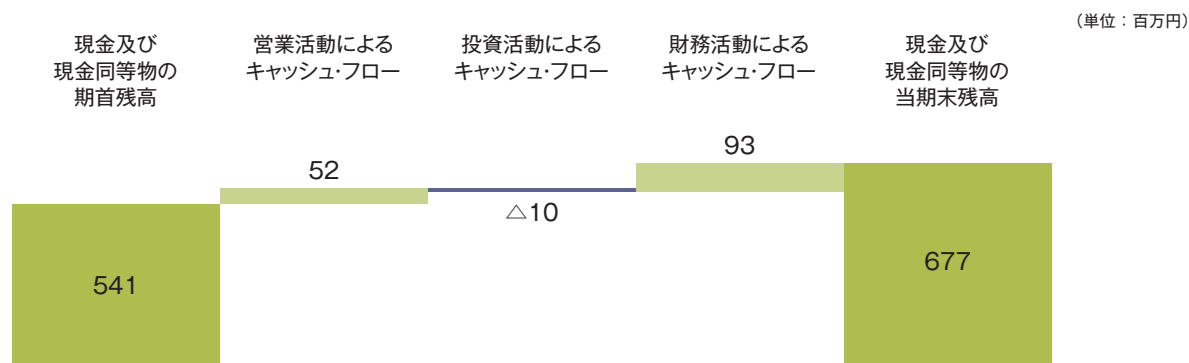
指 標	第73期 2024年3月期	第74期 2025年3月期
自己資本当期純利益率	△3.9%	1.3%
総 資 産 経 常 利 益 率	1.5%	2.0%
1株当たり当期純利益	△19円55銭	6円50銭

広告事業区分別販売実績



連結キャッシュ・フローの概況

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 第74期 2024年4月1日～2025年3月31日



当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ135百万円増加し、677百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー	営業活動の結果、得られた資金は52百万円（前連結会計年度は使用した資金50百万円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益65百万円、減損損失20百万円、仕入債務の減少額69百万円によるものであります。
投資活動によるキャッシュ・フロー	投資活動の結果、使用した資金は10百万円（前連結会計年度は使用した資金5百万円）となりました。これは主に新規連結子会社の取得による支出44百万円によるものであります。
財務活動によるキャッシュ・フロー	財務活動の結果、得られた資金は93百万円（前連結会計年度は使用した資金178百万円）となりました。これは主に自己株式の処分による収入80百万円、社債の発行による収入100百万円および配当金の支払25百万円によるものであります。

今後の見通し

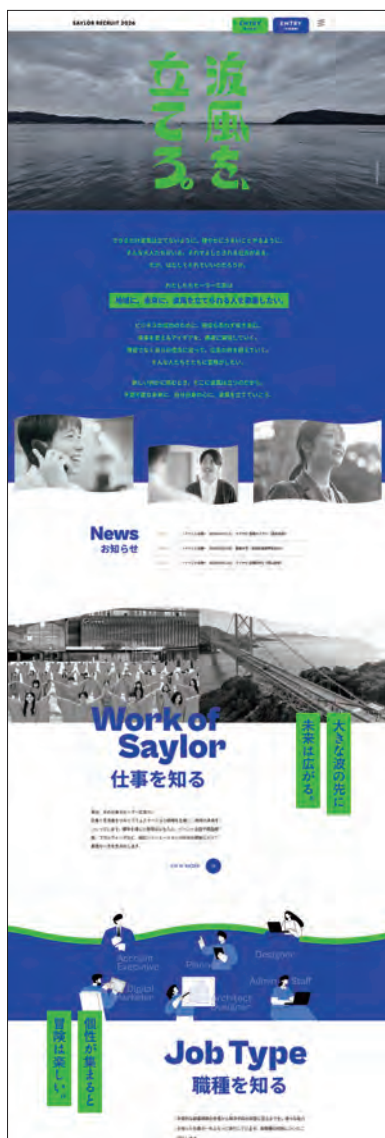
2024年の国内広告業界の売上高は、人流活発化や好調なインバウンドなどを背景に5兆7,584億円、前年比101.6%となりました。また、社会のデジタル化を背景に、インターネット広告費は1兆5,817億円、前年比106.4%となり、依然として広告費全体の伸びを牽引する状況となりました。

このような環境の中、各企業ともデジタル技術を活用したプロモーション活動への関心が高く、デジタルデータを積極的に活用したマーケティング手法やデジタル戦略へのシフトを進めております。また、同時に、企業のコミュニケーション領域につきましても、従来のメディア以外に、ECサイトやSNS、動画配信サイトのほか、リクルートやサステナビリティに関連した内容など多方面に拡大しており、こうした変化の中で、企業のコミュニケーション活動には従来とは異なる発想が必要とされております。

当社グループにおきましては、地域に密着した広告会社としての強みを活かしながら、データやAIなどを活用したコンサルティング型ソリューションの拡充と、人材・組織の強化を進め、次世代デジタル技術を活用したマーケティングデザイン企業へと進化し、地域社会とともに未来を創造できる地元企業の成長を支えるパートナーを目指してまいります。

なお、次期連結会計年度（2026年3月期）の当社グループ通期の業績につきましましては、引き続き人流活発化や好調なインバウンド需要が見込めるほか、上記取組を進めることによる持続的成長に向けた戦略投資をこれまで以上に加速していくことを鑑み、総売上高8,300百万円、営業利益150百万円、経常利益170百万円を予想しております。

採用サイトがリニューアル！



当社の採用サイトが、より見やすく、魅力的に生まれ変わりました。

新たに加わったコンテンツやデザイン、「波風を、立てろ。」のメッセージで、これからの採用活動を進化させます！

今回のリニューアルで注目すべきポイントの一つは、プロジェクトストーリーや若手社員同士、また若手社員と中堅社員による座談会です。チームやプロジェクトの実際の取り組みなどを、リアルな声を通じて会話形式でお届けしています。

また、募集職種に関連して、社員一人ひとりのインタビュー内容も充実させました。

新しく生まれ変わった採用サイトが、より多くの優秀な仲間との出会いを繋げる懸け橋となることを期待しています。



座談会の様子

生成A I 活用研修を実施！

今年、1月と2月に、高松と松山の2会場に分かれて、外部講師を招き、生成A I 活用研修を実施いたしました。

ワークショップや課題発表をとおして、自分たちの業務の中で生成A I を活用した業務改善を考える良い機会になりました。



株式データ

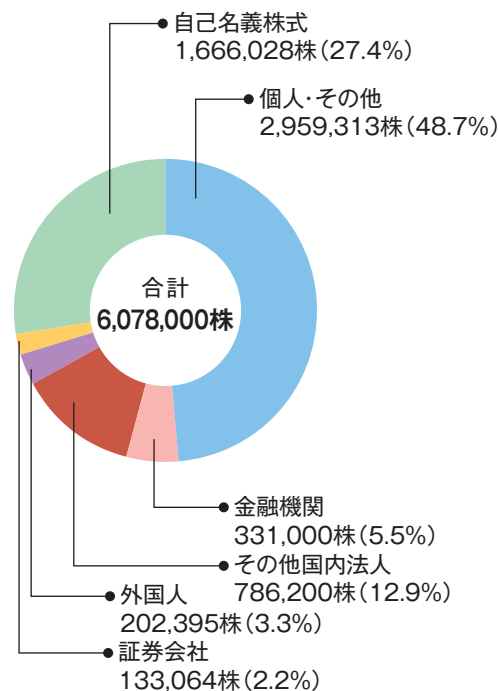
株主の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,000,000株
発行済株式の総数 6,078,000株
単元株式数 100株
株主数 2,071名

大株主の状況 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セーラー広告株式会社	1,666,028	27.41
セーラー広告取引先持株会	594,100	9.77
セーラーグループ社員持株会	415,100	6.82
株式会社香川銀行	180,000	2.96
村上 義憲	163,400	2.68
株式会社読宣WEST	160,000	2.63
JP JPMSE LUX RE MERRILL LYNCH INTERNATIONAL JP EQ CO 2	144,000	2.36
工藤 信仁	142,000	2.33
株式会社中広	99,500	1.63
株式会社日鋼サッシュ製作所	95,200	1.56

株主構成 (2025年3月31日現在)



株主還元

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付け、安定した配当を継続して実施することを基本とし、設備投資や販売強化等に関する資金需要の状況、業績の動向、ならびに内部留保の充実等を総合的に検討したうえで配当額を決定しております。当方針のもと、2025年3月期の期末配当金につきましては、安定配当を維持しながら中長期的な視点で利益還元の充実を図ってまいりたいとの考えから、利益成長に向けた新規投資と安定した株主還元の最適なバランスを検討した結果、1株当たり6円といたしました。また、次年度の配当金につきましても、安定配当の継続を重視し、グループを挙げて業績拡大と収益向上に努め、1株当たり6円とする予定です。

配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	25	—	1.2
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	26	92.2	1.3
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00		—	

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
(<https://www.saylor.co.jp/>) に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京証券取引所 (スタンダード市場)

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

会社データ

■会社概要 (2025年6月25日現在)

商号	セーラー広告株式会社
本店所在地	香川県高松市扇町二丁目7番20号
設立	昭和26年3月
資本金	294,868,750円
従業員数	220名(連結)
建設業許可	香川県知事(般-4)第6088号
警備業許可	香川県公安委員会第154号

■業務内容 (2025年6月25日現在)

広告出稿業務
広告媒体制作
広告制作業務
マーケティング・プランニング
セールスプロモーション・プランニング
イベント・展示会の企画、運営、管理
CIプランニング
セレモニーの企画、運営、管理
インターネット関連の企画、運営

■役員の状況 (2025年6月25日現在)

代表取締役会長	村上 義憲
代表取締役社長	香川 裕史
取締役CIO	間 敬三
常務取締役	萱原 一則
常務取締役	高藤 聖二
取締役	森川 稔
常勤監査等委員	原渕 定夫
監査等委員	田辺 真由美
監査等委員	福川 盛二

■ネットワーク (2025年6月25日現在)

▶拠点

高松本社	香川県高松市扇町二丁目7番20号
愛媛本社	愛媛県松山市北斎院町637番地6
岡山本社	岡山県岡山市北区東古松南町6番地29
徳島支社	徳島県徳島市新南福島一丁目4番6号
広島支社	広島県広島市中区橋本町9番7号 Dolce Square 7F
倉敷支社	岡山県倉敷市白楽町249番地の5 倉敷商工会館5F
西讃支社	香川県丸亀市土器町東八丁目466 富士ビル2F
東予支社	愛媛県新居浜市繁本町3番1号 愛媛新聞ビル
東京支社	東京都港区虎ノ門五丁目12番8号 クローバー神谷町4F

▶関係会社 (全て連結対象)

- 株式会社あわわ／徳島県徳島市南末広町2番95号
(タウン情報誌出版、雑誌広告、建てようネット、PRツール、ホームページ制作 ほか)
- アド・セイル株式会社／香川県高松市鍛冶屋町3 香川三友ビル5F
(インターネットを利用したマーケティング 戦略的Webサイト企画制作・運営
国内向けECサイト企画制作・運営代行)
- 株式会社ゴング／福岡県福岡市中央区薬院一丁目6番9号
福岡ニッセイビル5F
(広告企画・制作、マーケティング、プロモーションプランニング ほか)
- 株式会社adear／高知県高知市北本町一丁目10番28号
(広告出稿、広告媒体制作、広告制作、マーケティング、セールスプロモーション、イベント ほか)
- 株式会社FISH／香川県高松市丸亀町3番地13 丸亀町参番街西館2F
(マーケティング領域のコンサルティング、事業開発/プロダクト開発、ブランディング
広告コミュニケーション、施設・店舗プロデュース、デジタルコミュニケーション、地域課題解決)
- 株式会社MD&アソシエイツ／香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル316号
(地域産品の販路開拓、地域商品の開発、自社商品の開発)



セーラー広告株式会社

高松本社／香川県高松市扇町二丁目7番20号 Tel.087-825-1156 Fax.087-825-1151
ネットワーク／高松・松山・岡山・徳島・広島・倉敷・丸亀・新居浜・東京

<https://www.saylor.co.jp>

セーラー広告

検索